

平成28年度

公共事業再評価（林道事業）

林道 あおの やきやま  
青野八木山線

経済産業部 森林・林業局

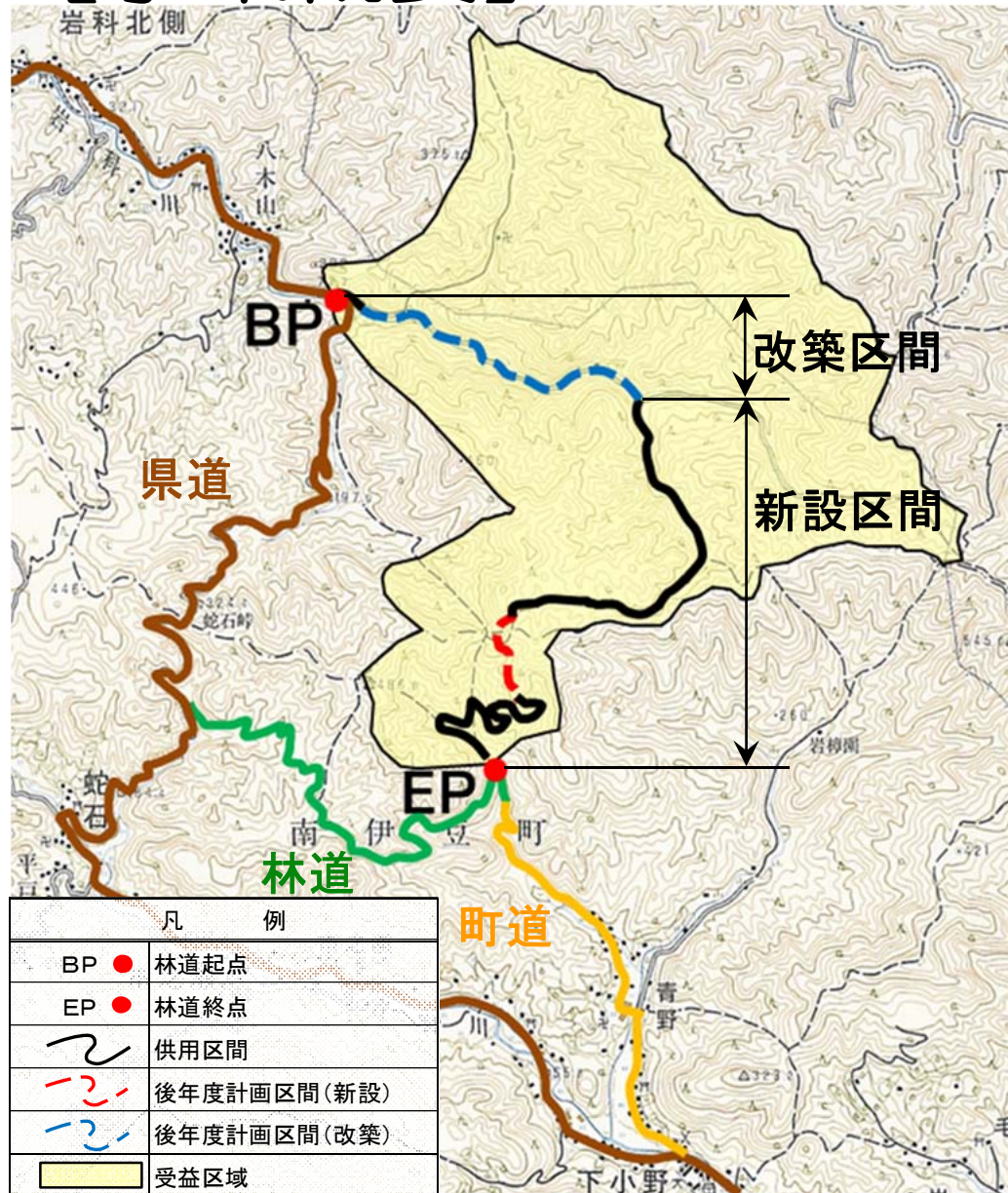
森林整備課

# 【評価対象箇所】

(対象件数：1件)



# 【事業概要】



## ○目的

- ①森林資源の活用
- ②森林整備の効率化

## ○事業内容

計画延長：7,600m  
 (新設：5,400m)  
 (改築：2,200m)

全幅員：4.0m

受益区域：815ha

総事業費：1,180百万円

計画期間：H19～H33

# 【社会経済情勢等の変化】

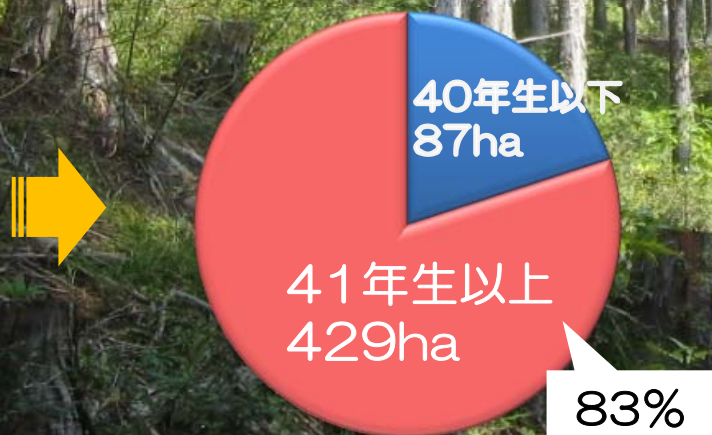
○ふじのくに森林・林業再生プロジェクト

➡ 県産材生産50万m<sup>3</sup>に向けた  
低コスト木材生産の構築

○森林資源の状況

受益区域：815ha

スギ・ヒノキ林：516ha（63%）



➡ 充実した森林資源  
の利用

# ○林道沿線での森林整備状況

工事完成区間は逐次供用を開始。  
森林整備・木材生産が実施されている。

【作業道整備実績】 H24~H25

延長 5,187m



高性能林業機械の導入

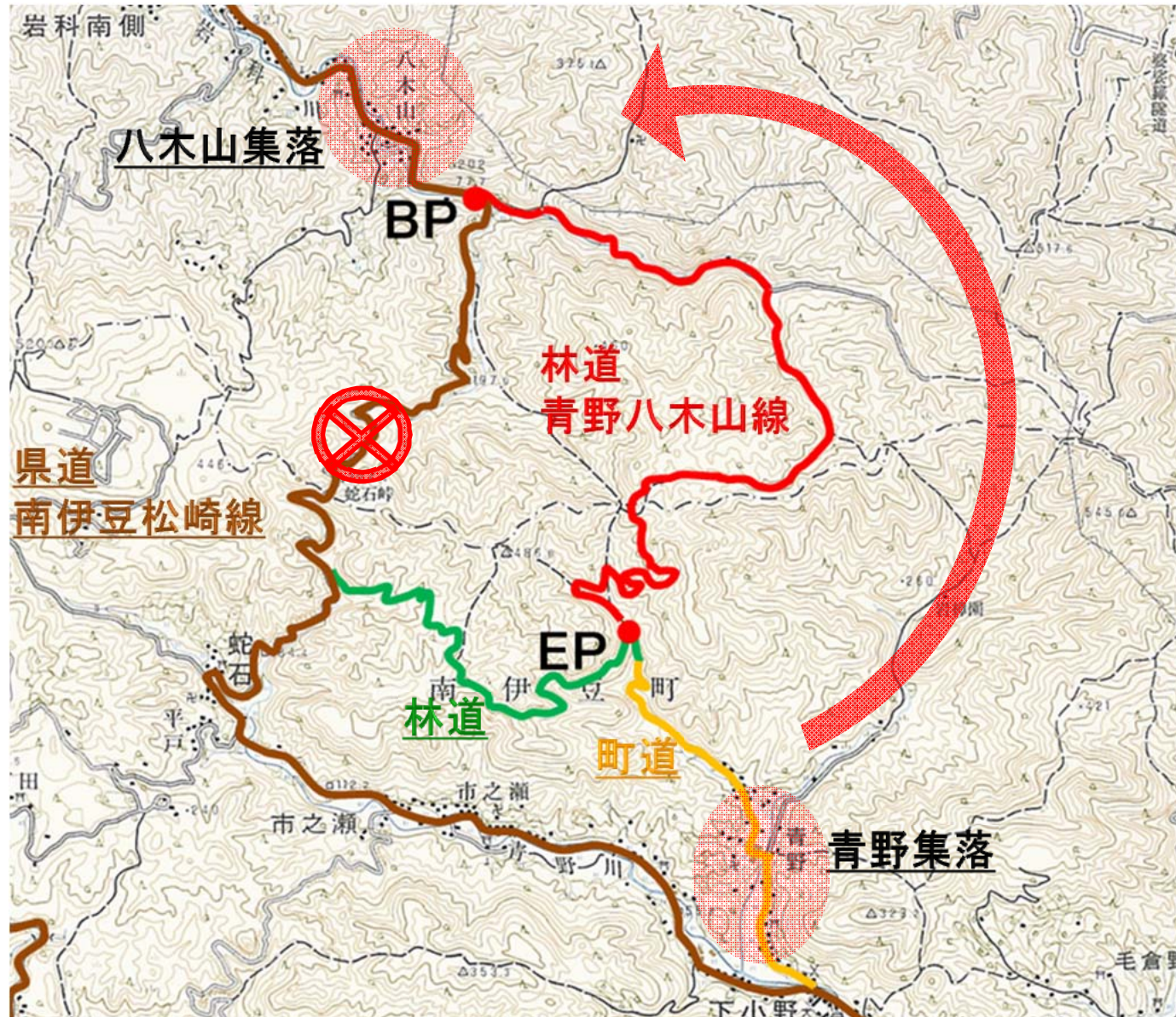
【森林整備実績】 H19~H27

区分	保育 間伐	利用 間伐	計
面積 (ha)	200.2	28.7	228.9



⇒ 木材生産量 1,128m<sup>3</sup>

# ○災害等緊急時の迂回路として期待



## 【事業の投資効果】

○総費用（C） 13.2億円

○総便益（B） 22.2億円

木材生産等便益	6.5億円
森林整備経費縮減等便益	15.7億円
計	22.2億円

⇒ 費用対効果分析（B/C） = 1.68

# 【事業の進捗状況・今後の見込み】

## ●進捗状況（平成28年度末見込み）

	事業量(m)				事業費（百万円）			
	計画	実績	残	進捗率	計画	実績	残	進捗率
全体	7,600	4,418	3,182	58.1%	1,180	819	361	69.4%
新設	5,400	4,113	1,287	76.1%	920	775	145	84.2%
改築	2,200	305	1,895	13.8%	260	44	216	16.9%

- 地形が急峻な区間の新設を先行して実施。

## ●今後の見込み

- 地形が緩やかな区間の新設、改築区間の実施。  
⇒ 事業費が抑えられ順調に進捗し、平成33年度に完成の見込み。



# 【コスト縮減の取組】

## ①地形に沿った路線線形の設定

⇒掘削土量・切土法面の縮減

## ②補強土壁工等の導入

⇒工事発生土の活用により残土量の縮減

## ③林道沿線での残土処理

⇒残土運搬経費の縮減

木材の集積場に活用可能



残土処理場

林道

# 【関係者の意見】

聴取した意見の内容	県の考え方
<ul style="list-style-type: none"><li>・林道は森林の適正な管理だけでなく、災害時の迂回路などにも活用できるため、早期完成を要望する。</li><li>・完成後の管理がしやすい林道にしてほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・早期完成を目指して、引き続き事業を推進する。</li><li>・林道管理者である町と協議しながら、完成後の維持管理に配慮した設計を行う。</li></ul>

※平成28年2月聴取

## 【対応方針案】

### ◎ 事業を継続する

- 費用対効果が認められる。
- 人工林資源が充実し、早期の開通に対する地元の要望が強く、林道を利用した森林整備等が進んでいる。